

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	障害者グループホーム等施設整備費補助事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	障害者支援課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	小西 和典				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	障害者	意図	障害者福祉施設整備事業に要する経費の一部に対し、助成することで、障害者の福祉の向上と増進を図る。
事業内容	消防法の改正により、障害者グループホームにスプリンクラー設置し、費用の一部を補助する。 また、親亡き後、障害者が地域で安心して暮らせる場としての共同生活援助施設の整備を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	障害者グループホームスプリンクラー設置については完了したが、共同生活援助施設の整備について、平成29年度末に国及び千葉県の補正予算採択が決定したことを受け、平成30年度中の完成を目指す。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	補助対象知的障害者グループホーム数		1	1	施設	
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
共同生活援助施設の整備について、平成29年度末に国及び千葉県の補正予算採択が決定したことを受け、平成30年度末に完成となった。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,532,120	134,065,920
事業費(b)(円)		3,465,000	134,000,000
うち一般財源			
職員給与費(c)(円)		67,120	65,920
人役・職員(人)		0.01	0.01
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	VII 終了（事業を終了すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	前年度からの繰越事業	③取組における課題(Check)	平成30年度末に竣工した。
②H30に実施した取組(Do)	前年度からの繰越事業	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	不足する知的障害者に対する共同生活援助施設の整備について検討していく。